



目次 • Contents

- 2 JOF お知らせ
- 3 藤原歌劇団・日本オペラ協会だより
- 4 「劇場のわがままな歌手たち」出演者インタビュー
押川浩士／三浦克次
- 5 「夕鶴」メッセージ
岩田達宗／佐藤美枝子／砂川涼子
- 6 「二人のフォスカリ」作品紹介&インタビュー
伊香修吾／藤田卓也／佐藤亜希子／海道弘昭／西本真子
- 8 公演レビュー
- 9 新入団会員紹介
- 10 公演ラインアップ
外部出演マネージメント オペラ&コンサート情報

お得で魅力一杯のJOF (日本オペラ振興会) 鑑賞会員
選べる! <JOFプレミアムシート> 2023/24シーズン ● 新規会員大好評募集中!!

藤原歌劇団・日本オペラ協会の公演がまとめてお申し込みいただける<JOFプレミアムシート>2023/24シーズンは、全6箇所5演目を最大20%OFFでご鑑賞できます! 限定特典も盛りだくさんです。観れば観るほどお得な<JOFプレミアムシート>をお見逃し無く!!

* どの会員も数と期間に限りがございますので、お早めにお申込みください。
 詳細は、下記チケットセンターにお問い合わせください。

会員特典

- ① 最優先で良席を確保いたします
 - ② 有料プログラム引換券を進呈
 - ③ ゲネプロ(最終舞台稽古)・バックステージ見学へのご招待
 - ④ 所属歌手との交流会(有料)への参加 ※年1回予定
 - ⑤ その他主催コンサートへご優待価格でのご案内 他
- * 新型コロナウイルスの流行により、実施を見送っている特典もございます。何卒ご了承ください。

お問合せ: 日本オペラ振興会チケットセンター
 03-6721-0874 (平日10:00~18:00)

プレミアムシート特設ページで金額も簡単に確認いただけます。今すぐチェック!

日本オペラ振興会 検索

公益財団法人日本オペラ振興会に対するご寄付と賛助会員の募集について

当振興会では団体運営及びオペラ公演等の制作に要する資金を充実させるため、寄付ならびに賛助会員募集によるご支援をお願いしております。

- ◎寄付金 お申し込み金額はご自由にお決め頂けます。
- ◎賛助会員 賛助会費年額は法人30万円以上、個人10万円以上にてよろしくご支援お願い申し上げます。

- ◎税法上の優遇措置 当振興会は公益財団法人と認定されており、当振興会への寄付金、賛助会費に対しては、法人、個人それぞれに税法上の優遇措置が適用されます。

<詳細のお問合せまたは資料のご請求> 日本オペラ振興会 TEL 03-6721-0995 FAX 03-6721-0997 E-mail support@jof.or.jp

2023年度
 ~次世代を担うオペラ歌手育成機関~
オペラ歌手育成部 研究生・選科生 募集



藤原歌劇団公演「トスカ」(2023年) 第16期修了 / 小林厚子 (トスカ役) 第27期修了 / 澤崎一了 (カヴァラドッシ役)



日本オペラ協会公演「源氏物語」より(2023年) 第9期修了 / 佐藤美枝子 (六条御息所役)



日本オペラ協会公演「源氏物語」より(2023年) 第37期修了 / 相楽和子 (紫上役)

募集要項はホームページよりご覧ください。

育成部専用ページ:
<https://www.jof.or.jp/training/>



※見学希望はお電話でお問い合わせください。

問い合わせ先:
公益財団法人日本オペラ振興会 オペラ歌手育成部
 〒215-0004
 神奈川県川崎市麻生区万福寺1-16-6
 昭和音楽大学北校舎内
 TEL (044)969-7197 (10:00~18:00)
 FAX (044)953-8693

サテライト教室

2023年度 アミーチ藤沢クラス 春期生募集

~選科生声楽アミーチコースのプレクラスとして、オペラアンサンブルを楽しく本格的に学べます~

- ◆ 開講日 日曜日 10:30 ~ 13:30 ◆ 期間 半年 / 授業回数15回 (2023年5月~2023年10月) + 発表会 (費用別途負担)
- ◆ 会場 JR線・小田急線「藤沢」駅南口より徒歩4分 *詳しくはホームページまたはオペラ歌手育成部までお問い合わせください。

藤原歌劇団
だより



藤原歌劇団総監督
折江 忠道

昨今の政情不安に加え経済の低迷などによりオペラ業界は未だに非常な忍耐と過度な労力を強いられる状況が続いています。そこで求められるのが歌手の質の向上です。如何なる状況の変化にも影響されずにオペラの根源を担うべく、技術と人格と体力を常に鍛え磨き上げなければなりません。オペラの最後の砦がここにあると言っても過言ではないからです。そこで2023年度シリーズ公演は、ある意味で歌手の質と腕が試される作品群を網羅していると言えます。

オープニングを飾るのは、4月のドニゼッティ作曲「劇場のわがままな歌手たち」。本作は「ビーヴァー・ラ・マンマ (Viva la mamma)」と称されている作品です。滑稽なドタバタ喜劇の元祖的オペラで、筋書きや音楽的バックアップが全く無く、只々歌手たちの歌い回しと役者としての演技力に懸かっています。シンプルな内容だからこそ一心不乱誠心誠意に取り組む姿が観客の笑いを誘い喜劇の原点を表出し得るのだと信じて止みません。

続く9月には、ヴェルディ作曲の「二人のフォスカリ」をお届けします。このオペラは一切の派手さを廃し、ただ一筋に人間の不条理さ、醜さ、哀しみを徹底的に描いた作品で、演者には難易度の高い技術力と人間としての深さが要求されます。

そして最後は、2024年1月末と2月初めに上演する、グノー作曲「ファウスト」です。いわゆるグランドオペラの典型たる作品ですが、経済不況の中だからこそ挑戦となります。全5幕からなるオペラで、多数の出演者にバレエも加わり、贅沢を絵に描いたような作品ですが、表面的な華やかさと内面的な豊かさのどちらが真の贅沢なのかを問う事になるかと想像します。

コロナ感染予防対策が緩和される中、マスク着用の稽古はまだまだ続きそうです。が、日夜精進奮闘よろしく、多くのお客様に感動していただける舞台をお届けしたいと心から望んでいます。来年の藤原歌劇団創立90周年に向けて、団員総出で力を合わせて頑張りましょう！

日本オペラ協会
だより



日本オペラ協会総監督
郡 愛子

麗らかな季節の訪れは、心に潤いをもたらす音楽そしてオペラの果たすべき役割をあらためて感じさせてくれます。

本年2月にBunkamuraオーチャードホールにおいて、三木稔作曲、グランドオペラ「源氏物語」の全幕版日本語上演世界初演を果たしましたことには、大きな意義を感じます。この作品は、それぞれの場面における登場人物のすべてが主役であり、それに見合う完璧なキャストینگが求められることに加え、舞台、衣裳、その他すべてにおいて極めて大規模であるが故にこれまで公演が見送られてきたのではないのでしょうか。Bunkamura様及び関係各位の皆様方の多大なご支援、そして日本オペラ振興会の歌い手の層の厚さが、世界初演の実現を可能としました。

さて、西洋には「一番大切なものは、それを失ったときにわかる」という諺があるようですが、令和5年度の日本オペラ協会公演では、まさにその諺にぴったりの古典と新作による2作品を上演いたします。まずは、本年7月1日・2日、テアトロ・ジューリオ・シウウワにおいて、ご存じ日本オペラの古典作品「夕鶴」を上演いたしま

す。また折に触れて、次代に継ぎたいオペラを同会場でも再演できますことを夢見ております。

そして、2024年2月10・11・12日の三日間、めぐろパーシモンホールにおいて、倉本聰原作のオペラ「ニンゲル」を新作初演いたします。倉本聰氏が1984年に立ち上げた私塾「富良野自然塾」の原点ともなった、同氏の代表的な舞台作品です。作品のタイトル「ニンゲル」とはアイヌ語で「小さい人」を表しますが、このたび倉本氏がこの戯曲「ニンゲル」のオペラ化を快く了承してください、実現する運びとなりました。倉本氏は、既に40年ほど前のこの作品で、過度な自然環境の破壊が招く悲劇を予告しており、取り返しのでなくなる前にそのことに気づき、引き返す知恵と勇気を持つことの大事さを訴えております。

言葉による呼び掛けだけでは気付きにくい大事なメッセージが、音楽の力を併せ持つオペラでは、より印象深く心の奥に刻まれます。今だからこそ必要とされるオペラ作品と確信いたしております。どうぞご期待下さい。

●藤原歌劇団公演 ニュープロダクション

劇場のわがままな 歌手たち

G・ドニゼッティ作曲
オペラ全1幕

Le Convenienze ed Inconvenienze Teatrale

出演者インタビュー



4/22

●アガタ
押川浩士
(バリトン)

●男性が「ステージママ」という役柄を演じる上で、普段の役作りとどのような違いがあるか、どんなアプローチが必要か教えてください。

オペラの登場人物を演じることは、その人の人生をなぞることなんですよね。つまり、自分とは違う人の人生を体験出来るんです！だから毎回、オペラのキャラクターを演じるのは本当に楽しいです。‘IF’、もしも自分ではなくて、このキャラクターだったら…。これを体験出来るのがオペラです。

しかし、今回は女性の役。もちろん、自分の経験の中にはありません。でも大丈夫。私の中には、この役モデルがいるんです！

実はこの役は何度も演じていて、今回は4回目。いつも、実在する「マンマ・アガタ」を思い描きながら舞台上に立っています。

●渾身のスカート役を楽しみにされているお客様へメッセージをお願いします！

はつきり言って、「美しい」です！（遠目で見れば）ご来場のお客様が、たじたじになるのが今から楽しみだわ♡さあ、笑う準備はいいかしら？



Hiroshi OSHIKAWA

2018年藤原歌劇団 NISSA YOPERA 2018 公演出演
「アン・ジヨアン」のレポレロ

4/23



●アガタ
三浦克次
(バリトン)

●本作で強烈なキャラクターのマンマ・アガタ。普段からユーモラスな三浦さんご自身との共

通点と相違点について教えてください。

マンマ・アガタはユーモラスな女性ではありません。自分の娘のルイジアを第2ソプラノからプリマドンナ（第1ソプラノ）にしようと必死なのだと思います。更に勢い余って自分もステージに立とうとします。自称、昔はスカラ座で歌っていたという割には楽譜が読めず、音程も怪しいのですが、本人は本気で必死なところが傍から見てもおもしろいのです。ひよっとして自分が叶えられなかった夢を娘に叶えさせようという想いが、そのエネルギーの源かもしれません。

私もアガタもお喋り好きですが、私は人を笑わせて一緒に笑うのが好きなので、私には笑えないか、本作の見どころを交えて教えてください。

このオペラの台本は、ドニゼッティが初めて自分で書いたもので、これまでに20作以上のオペラを作曲してきたドニゼッティが、自分が劇場で経験してきた事をこのオペラに詰め込んだのではないのでしょうか。

いつの時代もオペラは個人の作業であると同時に共同作業です。自己主張の強い歌手たちはより良い演奏をする事に夢中です。歌手同士でぶつかり合っているところに、中間管理職的

2023.
4/22 (土)・23 (日)

14:00

●テアトロ・ジオーリオ・ショウワ

指揮…時任康文 演出…松本重孝

ダリア (プリマドンナ)
…坂口裕子 / 中井奈穂
ブローコロ
…久保田真澄 / 小野寺 光
アガタ
…押川浩士 / 三浦克次
ルイジア (第二ソプラノ)
…中桐かなえ / 岡田美優
グリエルモ (劇場歌手)
…持木 弘 / 所谷直生
ピッペット (専属歌手)
…吉村 恵 / 高橋未来子
ビスクローマ (作曲家)
…大石洋史 / 鶴川勝也
チェーザレ (台本作家)
…和下田大典 / 月野 進
インプレザリオ (興業主)
…坂本伸司 / 相沢 創
ディレクター、デル・パルコシェニコ
(総監督)…豊嶋祐壹 (両日)

合唱
…藤原歌劇団合唱部
管弦楽
…テアトロ・ジオーリオ・ショウワ・オーケストラ

な作曲家・台本作家が巻き込まれ、興業主は保身に走り、みんながバラバラにもがきます。そして(皮肉にも)最後にみんなLa compagnia (仲間)と叫んで幕が降ります。欲張りな母親アガタを男性が、そして劇場の男性専属歌手のピッペットを女性が演じるところも見どころの一つです。

上演回数は少ないですが、最後に「うーん！」と考えさせられる楽しくて良くできたオペラです。この機会にぜひ一人でも多くの方にご覧頂きたいと思ひ毎日稽古に励んでいます。皆さまのご来場を心からお待ちしています。



Katsuji MIURA

2019年藤原歌劇団 NISSA YOPERA 2019 公演
「愛の妙薬」のトルカマー

夕鶴

木下順二 作
團伊玖磨 作曲
オペラ全一幕

●公演によせて



岩田達宗 「演出家」

全ての生き物は種を存続させるために生きている。だが種を超えた主人公たちの中には子供が出来ることはない。鶴が己の身と命を削ってまで千羽織を織ることは、愛する男の子供を産みたいという思いから生まれた行為である。鶴の千羽織はつうにとっては二人の間に出来た子供である。そんな大切な鶴の千羽織を、何故与ひようは、金に換えるために、つうに織ることを請うたのか？ つうが愛してやまぬ記憶を共有したかったからだ。彼が求めたのは金銭でない。金銭には変えられないつうとの記憶の共有だ。つうは繰り返し都の話をした。そして、与ひようはつうと一緒に都に行くことを激しく求めたのだ。つうへの愛が、つうの愛する美しい都の風景の記憶を共有することへの強烈な願いとなり、それが二人を滅ぼす結果となった。

つうを殺すのは与ひようの金銭に対する欲望ではない。そもそもそんなものは微塵も存在しない、と周到にこの台本には明記されている。

二人の恋は金銭や経済などという虚構に破壊されたのではない。愛し合う二人が鶴と人間であったから、それだけだ。それでも二人は愛し合う。だから二人は美しく「夕鶴」という作品は美しい。

2023年7月1日(土) 2回 14時
テアトロ・ジリオ・シヨウワ

指揮：柴田真郁 演出：岩田達宗
つう……………佐藤美枝子／砂川涼子
運ず……………江原啓之／市川宥郎 惣と……………下瀬太郎／田中大揮
児童合唱……………こどもの城児童合唱団
管弦楽……………テアトロ・ジリオ・シヨウワ・オーケストラ

7/1

つう ● 佐藤美枝子 (ソプラノ)

●2018年の同プロダクション公演でもつうを演じ好評を博した佐藤さん。この数年で世の中が大きく変化しましたが、今回演じるにあたり作品への取り組み方に変化はありますか？

2018年に初役として歌わせていただいた「夕鶴」のつうは、その年、日本オペラ協会と別のプロダクションでも務めた役柄で、日本オペラの私のレパートリーの中で一番回数を踏ませていただいております。日本オペラ協会でも再び同役を歌わせていただける事、心踊るほど嬉しく思っております。

コロナが蔓延していく中で多くの制約ができました。制約があっても、そのリスクをリスクとせず演唱せねばならないという、演出家にとっても歌手にとっても、本当に厳しい日々から3年半が経ち、制約がかなり緩和されるであろう7月に上演される「夕鶴」。歌手はもちろん、演出家、指揮者、プロダクションにとって、本当に喜ばしく、とても楽しみな公演です。ベルカント唱法で日本語を発語することをモットーとして、私ならではの、つうを、ご来場くださるお客様に心から楽しんでいただけるよう、精進し、努めて参ります。



Mieko SATO

2023年日本オペラ協会公演
「源氏物語」の六条御息所

7/2

つう ● 砂川涼子 (ソプラノ)

●これまでに様々な役を演じられている砂川さんですが、今回つうは初役ということで楽しみにされているファンも多いと思います。どのように役作りや表現をしようと考えるかを教えてください。

私は役作りをほとんどしていません。最初は細かい情報を入れずに感覚を大切にします。何歳でどのような職業で…などの生立ちはその後で、とにかく、メロディとテキストから感じる事を自然体で、と想ってスタートします。

今回の演出家は、先日の「源氏物語」でも一緒に演じた岩田さんです。いただいたアドバイスをどうしたら素敵に表現できるか試行錯誤しながらも、最終的に、お買い上げ(採用)された時はとっても嬉しいです！指揮者の柴田さんとは「道化師」で共演しましたが、情熱的で素敵でした。歌手へ寄り添ってくださる方で、今回の共演もとても嬉しく思っています。

つうに限らず、初役を歌うことばかりです。レパートリーにしている役で再演となったとしても、また新しい共演者と最初から作っていく…まさに舞台は一期一会なんです。経験が助けになることはありますが、「今」どう感じているか、ということをお大切にしています。そして、オペラは歌が物語を作り進めていきます。声は、いい意味で誰もが不安定な部分を持っていて、だから聴いていて感動し、共感していただけています。

歌も姿も、内からの魅力で溢れる、つうとして美しく存在できるよう、そして團伊玖磨さんの美しく儂い「夕鶴」の世界をお楽しみいただけるよう、頑張りたいと思います。皆さまのご来場を、心よりお待ちしております。



Ryoko SUNAKAWA

2023年日本オペラ協会公演
「源氏物語」の六条御息所

「二人のフォスカリ」

2023年

9/9 (土)・10 (日)

14:00

● 新国立劇場オペラパレス

指揮…田中祐子 演出…伊香修吾

フランチェスコ・フォスカリ …須藤慎吾 / 上江隼人
ヤコポ・フォスカリ …藤田卓也 / 海道弘昭
ルクレツィア・コンタリーニ …佐藤亜希子 / 西本真子
ヤコポ・ロレダーノ …田中大揮 / 杉尾真吾
バルバリーゴ …及川尚志 / 黄木 透
ピザーナ …中桐かなえ / 加藤美帆

合唱…藤原歌劇団合唱部
新国立劇場合唱団

二期会合唱団

管弦楽…東京フィルハーモニー交響楽団

公演によせて



伊香修吾
[演出家]

ヴェルディが『二人のフォスカリ』で焦点を当てたのは、今からちょうど600年前の1423年にヴェネツィア共和国の総督に就任した、フランチェスコ・フォスカリでした。当時の総督は、強い政治権力を持つ一方で、独裁や身内の優遇を防ぐために本人と家族に多くの行動制限が課されており、常に共和国の「象徴」であり続けることを強いられる存在でもありました。ヴィオレッタ、リゴレット、オテロなど、社会の抑圧下に置かれた人物に目を向けることが多かったヴェルディらしい着眼点と言えるかもしれません。父親でもあり総督でもあるひとりの人間として、我が子に対する感情と共和国に対する責任の間で揺れ動くフォスカリの姿は、21世紀を生きる私たちにも、政治や政治家のあるべき姿について考えるきっかけを与えてくれます。

このたび、日本では久しぶりとなる全曲上演を演出する機会に恵まれました。藤原歌劇団と共に、皆さまのお心に届くような舞台を作りたいと思っています。

あらすじ

第1幕

ヴェネツィアの宮殿。十人会議の面々ほか関係者が参集。総督の敵ロレダーノとその友バルバリーゴが「公正を期す」と歌う。殺人の疑いで獄にあった総督の息子ヤコポ・フォスカリが広間に入る。彼は、十人会議の召集を受け、流刑先から帰郷。「無実が自分に力を与える」と歌う。ヤコポの妻ルクレツィアは、舅の総督フランチェスコ・フォスカリに「夫に公正な裁きを」と訴えようとするが、周囲に止められる(アリア〈天よ、その全能の眼差しに〉)。侍女ピザーナから夫が再び流罪になると聞き、彼女は怒る。宮殿では、人々が、ヤコポの再流刑は避けられないと語る。総督は「父親が実の息子を裁くとは」と嘆く。そこにルクレツィアが現れ、夫を返してほしいと嘆願、総督は、支配者ゆえ出来ないと告げる。

第2幕

牢獄。ヤコポはアリア〈私を呪うな〉を歌う。ルクレツィアが夫に評決を知らせ、自分も同行しますと語る。総督は親としての胸のうちを告白。するとロレダーノが現れ、護送の船が用意出来たと宣告。ルクレツィアが自分も一緒にと口走ると、彼は「十人会議が禁じる」と言い放つ。ヤコポは連行される。

総督が十人会議の席に着く。ヤコポが改めて無実を訴えるが、ロレダーノが出立を急かす。ルクレツィアが二人の息子を連れて現れると、人々は同情。しかし、ロレダーノはバルバリーゴの言葉にも耳を貸さず、夫と妻を引き離す。

第3幕

小広場。ゴンドラの競漕に人々が声援を送るが、宮殿からラッパが鳴るとちりぢりになる。ヤコポは妻に別れを告げ、ロレダーノは復讐の時と喜び、ルクレツィアはピザーナの腕に倒れこむ。

バルバリーゴが総督に「ヤコポの無実を、真犯人が死の床で告白」と知らせる。しかし、ルクレツィアが、護送船内でヤコポが絶命したと告げ、十人会議は総督に退位を強要。老フォスカリはアリア〈これが非道なる報いか〉を歌い、「我が子よ」と呟いてから斃れる。ロレダーノは手帳に「我は報われり」と書き付ける。

岸 純信 (オペラ研究家)

●ヤコポ・フォスカリ
藤田卓也 (テノール) 9/9

●ヤコポ・フォスカリという役を通して、どんなイメージやテーマをこのオペラから感じ、お客様にお届けしたいとお考えですか？

多くのことがリモートで補える時代になりました。自分の正当性を世に訴えるツールも沢山あります。録画や録音が動かぬ証拠にもなり得ます。良い時代です。現代人の我々がそれらに在るものを差っ引いてこのオペラを覗き、純粋な魂の部分で芸術に触れるというのは醍醐味のひとつと言えますでしょう。

父、妻、子供、故郷、それぞれの特別な絆を陰謀によって全て引き裂かれるヤコポ・フォスカリですが、私が最も身につまされるのは3幕の「Da voi lontano è notte il viver mio」という台詞です。「皆から離れて生きるなど死んだも同然。」という以上の決意と絶望を感じます。またその後「In cielo un giorno avremo merce di tal dolor」の「un giorno」[一日]の中に込められる「皆は永く幸せに生きて欲しい」という思い。オペラ全体を通して、ヤコポの美しい旋律の中には彼にとつての「生きる」とは何か、そしてその「尊厳」が感じられます。



Takuya FUJITA

2019年藤原歌劇団公演「スカ」のヤコポ役

出演者インタビュー

●ルクレツィア・コンタリーニ
佐藤亜希子 (ソプラノ) 9/9

●これまで「ラ・トラヴィアータ」や「ファルスタフ」など多くのヴェルディ作品に出演されている佐藤さん。本作はヴェルディ初期の作品ですが、よく上演される中期〜後期の作品との違いはどこに感じていますか？

ベルカントオペラのスタイルで書かれたものから20世紀の香りがする作品まで、同じ作曲家が書いたとは思えないほど作風に幅のあるヴェルディのオペラの中で、「二人のフォスカリ」はベルカントオペラを歌うような、鮮やかなテクニクを持った歌手が歌う事を想定して書かれているように思います。オペラに多い恋愛がテーマではなく、「ラ・トラヴィアータ」のように人の心に直接訴えかけるような人間らしい、色彩豊かな作品に比べると、物語の展開や人物の心理描写はシンプルに感じますが、その後の名作を予感させる箇所が沢山散りばめられた素晴らしい音楽だと思えます。

私はオペラの中で歌い、演じる為に、人物の性格やドラマを深く理解する為の全てのことは音楽から生まれていると思っていますので、ヴェルディの意志を読み取りながら、お客様の心に響く表現が出来ますよう、努力したいと思えます！



Akiko SATO

2018年藤原歌劇団「SAY OPERA 2018」公演「ラ・トラヴィアータ」のソプラノ・エルヴィア



Hiroaki KAIDO

2023年日本オペラ協会公演「源氏物語」の頭中侍

●ヤコポ・フォスカリ
海道弘昭 (テノール) 9/10

●本作は当時の政治情勢に翻弄された一族の物語ですが、ヤコポ・フォスカリという役についてどういった印象を持ち、どのように表現しようと考えていますか？

ヴェネツィアの名家に生まれたヤコポは兄弟をベストで亡くして以降、偉大なる父親の愛を一身に受けて育ちました。しかしながら史実でも20代後半から悲劇的な逃亡、投獄や流刑地での生活を強いられます。長きに渡り妻や子、何より父親に会えない日々を過ごし、募らせていたであろう想いの強さが、バイロン、そしてヴェルディによって色濃く描かれていると感じます。

昨年夏にヴェネツィアに訪れ、ドゥッカレ宮やサン・レオナルド教会の父フランチェスコの墓を実際に見て感じた、ヴェネツィア人としての誇りや栄華への憧れ、同じ教会に葬られる事のなかったヤコポの悲運に胸が詰まる思いでした。作中に叫び続ける「innocente」[無実]という言葉に真実を乗せて、純粹無垢にヤコポを演じたいと思います。



Mako NISHIMOTO

2022年藤原歌劇団公演「ルトロヴァーレ」のレオノーラ

●ルクレツィア・コンタリーニ
西本真子 (ソプラノ) 9/10

●ヴェルディ作品の中でも上演機会の少ない本作。2022年1月には「イル・トロヴァトーレ」にも出演された西本さんから見たこの作品の難しさと、その魅力について教えてください。

このオペラの魅力は何と言ってもやはりヴェルディの旋律の美しさの上に表現される、それぞれの登場人物の心の動きだと思います。初期ヴェルディならではの、中期よりも更にベルカントオペラからの影響がとてもしばり残る美しい音楽の中には、愛情も苦悩も喜びも悲しみも、全てがとてもしばりに表現されています。難しさというならば、この「ベルカントでありながらもヴェルディの求める音楽と音色語られる言葉を、絶妙に織り混ぜて表現していかなければならないところ」です。私の役には劇的な表現が多いのも魅力であり、難しさでもあります。また史実に基づくお話ということ、政治、権力、愛、正義、陰謀…今の時代にも照らし合わせて感じられそうなお話も魅力の一つです。最後のシーンに向かって、フランチェスコ・フォスカリ自身が手にしていたと思っていたものを畳み掛けるように失って行くクライマックスが物語音楽共に圧巻です。その渦中で嘆き苦しむ懇願するフォスカリ家の妻、ルクレツィアとしてしっかり舞台上に存在したいと今から意気込んでおります。

2022年藤原歌劇団公演「ルトロヴァーレ」のレオノーラ

公演レビュー



● **日本オペラ協会公演**
「咲く～もう一度、生まれ変わるために～」 オペラ初演
 2022.11/25・26 ● としま区民センター 多目的ホール

どこか懐かしい物語とキャッチーな音楽
日本オペラ界を牽引していく
若手芸術家による新作オペラ



日本オペラ協会が室内オペラシリーズとして上演したのは、文化庁委託事業として3年計画で実施された「令和2年度次世代の文化を創造する新進芸術家育成事業」「日本のオペラ作品を作る～オペラ創造人材育成事業」において最優秀作品として選出された「咲く～もう一度、生まれ変わるために～」をオペラ形式として初演いたしました。同事業にファシリテーターとして参加した齊藤理恵子が演出を担当し、お客様にダイレクトにその作品を味わっていただけるような会場の特性を活かした演出で、その真髄をお客様にお届けいたしました。出演者は披露演奏会にも出演したキャストを中心に日本オペラ協会が誇る若手歌手陣が務め、日本オペラの幅広い可能性を感じていただける公演となりました。

●指揮 平野桂子 ●演出 齊藤理恵子 ●出演 飯田聡子：丹呉由利子／長島由佳 桜：芝野遥香／相楽和子 タロー：渡辺 康／黄木 透
 飯田俊幸：立花敏弘／大塚雄太 飯田貴美子：佐藤みほ／吉田郁恵 合唱：日本オペラ協会アンサンブル 管弦楽：SAKU室内オーケストラ
 ●スタッフ 美術：根来美咲 衣裳：小泉美都 照明：鷲崎淳一郎 映像：幕内 寛 舞台監督：尾花 真 他



● **ベルカントオペラフェスティバル イン ジャパン2022公演**
「藤原歌劇団メヴィッレ・ディトリア(マルティーナ・フランカ)音楽祭提携
G.ロッシーニ 作曲「オテッロ」 新制作
 2023.1/20・22 ● テアトロ・ジーリオ・シヨウワ

世界的スーパースターが各国より集結
ロッシーニの難曲オペラ「オテッロ」を世界レベルで上演



第5回となるベルカントオペラフェスティバル イン ジャパン2022は、これまでのフェスティバルの集大成とも言える様々なイベントを1月7日から1月22日までの期間で実施しました。なかでもメインイベントとなるロッシーニ作曲の「オテッロ」は、演奏するのも困難で減次に上演されておらず、今回は世界的ロッシーニテノールのジョン・オズボーンを招聘し、世界レベルの公演でお届けすることができる大変貴重な機会となりました。提携のマルティーナ・フランカ音楽祭の音楽コーチでもあり、BOF芸術監督のカルメン・サントロによる手腕で実現した本公演。日本トップレベルの演奏を、多くのロッシーニファンをはじめとした多くのお客様にお楽しみいただきました。

●指揮 イバン・ロベス＝レイノソ ●演出 ルイス・エルネスト・ドージャス ●出演 オテッロ：ジョン・オズボーン デズデーモナ：レオノール・ボニッツァ
 ロドリゴ：ミケーレ・アンジェリーニ イアーゴ：アントーニオ・マンドゥリッロ エルミーロ：トニー・ネジチュ エミーリア：藤井泰子 ドージェ／ゴンドラ乗り：渡辺 康
 ルーチェ：西本広大 合唱：藤原歌劇団合唱部 管弦楽：ザ・オペラ・バンド
 ●スタッフ 合唱指揮：河原哲也 美術：キアラ・ラ・フェルリータ 衣裳：エリーザ・コベッロ 照明：カミラ・ピッチョーネ 舞台監督：八木清市 他



● **藤原歌劇団公演 G.プッチーニ 作曲「トスカ」 新制作**
 2023.1/28・29 ● 東京文化会館 大ホール
 2023.2/4 ● 愛知県芸術劇場 大ホール

言わずと知れたプッチーニの名作
グランドオペラ「トスカ」を
藤原歌劇団を代表する豪華歌手陣で華やかに上演



2023年の幕開けは、藤原歌劇団として7年振りの上演となる「トスカ」を新制作でお届けしました。多くの名演があるこのオペラですが、今回は「トスカ」の真髄に迫るような、名手・松本重孝による演出。遠近法を見事に利用し、限られた空間にサンタンドレア・デラ・ヴァッレ教会を表出した舞台となりました。タイトルロールを務めたのは、数々の公演で成功を収めている小林厚子と、今回が当団デビューとなる佐田山千恵。全く異なる二人のトスカに牽引され、全日趣の異なる公演となりました。指揮は当団の「蝶々夫人」でも成功を収めている鈴木恵里奈によるエネルギーあふつくコントロールされた音楽で、オペラの醍醐味を余すところなく感じていただける公演となりました。

●指揮 鈴木恵里奈 ●演出 松本重孝 ●出演 トスカ：小林厚子／佐田山千恵 カヴァラドッシ：澤崎一了／藤田卓也 スカルピア：折江忠道／須藤慎吾
 アンジェロッティ：伊藤貴之／東原貞彦 堂守：押川浩士／泉良平 スポレッタ：松浦 健／井出 司 シャルローネ：龍 進一郎／大塚雄太 看守：坂本伸司／別府真也
 牧童：網永悠里／中桐かなえ 合唱：藤原歌劇団合唱部 管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団(東京)／セントラル愛知交響楽団(愛知)
 ●スタッフ 合唱指揮：安部克彦 美術：大沢佐智子 衣裳：前岡直子 照明：成瀬一裕 舞台監督：菅原多敏弘 他



● **日本オペラ協会公演 日本オペラシリーズNo.84**
紫式部 原作／コリン・グレアム 台本
三木 稔 日本語訳台本・作曲「源氏物語」 新制作
 2023.2/18・19 ● Bunkamura オーチャードホール

平安の雅な雰囲気漂う日本初のフィクション文学が
オペラ化されて22年の時を超え、日本語版初上演



JOF2022/23年シーズンの締めくくりは、2000年にセントルイス歌劇場が委嘱創作し英語台本にて初演した「源氏物語」を、日本オペラ協会が日本語版オペラ世界初演としてお届けいたしました。英語の台本をベースに故・三木稔が日本語版台本と作曲をしたという、日本オペラとしては稀有な作品として誕生した本作。光源氏とそれを取り巻く美しい女性たちを、今回岩田達彦の演出で美しく華開きました。絶世の美男子光源氏を、現在活躍中のバリトン岡 昭宏と、日本オペラに定評のある村松恒矢。嫉妬に狂う恋人六条御息所に佐藤美枝子、砂川涼子という実力派ソプラノが脇を固め、2019年にも同三木稔作品である「静と義経」を成功に導いた田中祐子による指揮で鮮やかに蘇りました。

●指揮 田中祐子 ●演出 光源氏：岡 昭宏／村松恒矢 六条御息所：佐藤美枝子／砂川涼子 藤壺：向野由美子／古澤真紀子 紫上：相楽和子／芝野遥香
 明石の姫：長島由佳／中井奈穂 葵上：丹呉由利子／高橋未来子 頭中将：海道弘昭／川久保博史 桐壺帝：山田大智／下瀬太郎 明石入道：江原啓之／豊嶋祐壺
 弘徽殿：森山京子／松原広美 朱雀帝：市川宥一郎／高橋宏典 少納言：河野めぐみ／城守 香 惟光：和下田大典／平尾 啓
 合唱：日本オペラ協会合唱団 管弦楽：東京フィルハーモニー交響楽団
 ●スタッフ 振付・所作：出雲 葵 合唱指揮・副指揮：平野桂子 合唱指揮：諸遊耕史 美術：松生紘子 衣裳：大塚 満 照明：大島祐夫 舞台監督：山田ゆか 他

新入団・会員 紹介 (*＝準団員・準会員より)

藤原歌劇団 正団員	日本オペラ協会 正会員	▶オーディションによる			▶推薦による	▶推薦による		▶オーディションによる					
			きむら ゆ き 木村有希 (S)	よしだ まさみ 吉田真澄 (S)			ふじい やす こ 藤井泰子 (S)			なかはら さおり 中原沙織 (S)*	やまかわ まな 山川真奈 (Ms)	たかはし まさる 高橋 大 (T)	ひら お ひろし 平尾 啓 (T)*
日本オペラ協会 正会員	▶推薦による							▶オーディションによる					
		あんどう ちひろ 安藤千尋 (Ms)*	こうの 河野めぐみ (Ms)*	たかはし み き こ 高橋未来子 (Ms)*	いちかわ ゆういちろう 市川宥一郎 (Br)*	わげ た だいすけ 和下田大典 (Br)*	いなば わか こ 稲葉和歌子 (Pf)			む た とも こ 牟田智子 (S)*	ながつま ひで こ 長妻秀子 (Ms)*		
藤原歌劇団 準団員	日本オペラ協会 正会員	▶オーディションによる		▶推薦による		▶オーディションによる			日本オペラ協会 準会員	▶オーディションによる			
		たけはな まや 竹花摩耶 (S)			にしやま こうだい 西山広大 (T)			よりずみ しおり 頼住葉里 (S)	お の たかのぶ 小野隆伸 (Br)			わか おりょう た 若尾隆太 (Br)*	

藤原歌劇団総監督・バリトン歌手 折江忠道が 下總院一音楽賞を受賞しました!

この賞は、埼玉県ゆかりのプロ音楽家を対象に、国内外で幅広く活躍され、今後更なる活躍が期待できる方に与えられるものです。

今回、ヨーロッパ各地および国内で多数のオペラに出演し現在も全国で活躍を続けていること、2016年に藤原歌劇団総監督に就任し数多くのオペラ公演を成功に導いていること、また公益財団法人日本オペラ振興会オペラ歌手育成部統括、昭和音楽大学客員教授として後進の育成にも貢献している実績が認められ、【音楽文化発信部門】での受賞となりました。



2月13日に行われた表彰式の様子

Schedule & Information

(2023年3月28日現在)
※今後、中止・延期になる可能性がありますので予めご了承ください。

2023年度 外部出演マネージメント (2023年4月～2023年9月)

【2023年】

4/3 (月)

芝浦工業大学入学式

出演：丹呉由利子

会場：東京国際フォーラム ホールA

4/5 (水)・8 (土)・11 (火)・13 (木)・16 (日)

19 (水)・21 (金)

新国立劇場「アイダ」

出演：村上敏明、須藤慎吾、伊藤貴之

会場：新国立劇場オペラバレス

4/13 (木)・15 (土)

東京・春・音楽祭

ブッチーニ・シリーズ vol.4

「トスカ」(演奏会形式)

出演：工藤翔陽

会場：東京文化会館 大ホール

4/15 (土)

「黒川稽古場村」合同公演

出演：佐藤美枝子

会場：昭和音楽大学 ユリホール

5/4 (木・祝)

第3回国際コンサートin 枚方

～ウクライナに平和を

出演：村上敏明

会場：枚方市総合文化芸術センター関西医大 小ホール

5/6 (土)・7 (日)

三河市民オペラ2023年公演

「アンドレア・シェニエ」

出演：中井亮一、大澤恒夫

会場：アイブラザ 豊橋

5/18 (木)・21 (日)・25 (木)・28 (日)・31 (水)

6/3 (土)

新国立劇場「リゴレット」

出演：森山京子、須藤慎吾

会場：新国立劇場オペラバレス

5/20 (土)

かがみはら未来文化財団設立記念公演

《女神たちの祝宴》

出演：藤原歌劇団女声アンサンブル

会場：各務原市文化会館

5/20 (土)

愛知室内オーケストラ

第55回定期演奏会

出演：伊藤 晴

会場：三井住友海上しらかわホール

5/21 (日)

日本橋オペラ2023創立10周年記念

「アイダ」

出演：村上敏明

会場：日本橋劇場

5/27 (土)・28 (日)・9/1 (金)

NISSAY OPERA 2023「メデア」

出演：横前奈緒、伊藤貴之、谷 明美(カバー)

会場：日生劇場、岡山芸術創造劇場 ハレノワ 大劇場

5/30 (火)

フィオーレ・オペラ協会

「シラノ・ド・ベルジュラック」

出演：村上敏明

会場：東京国際フォーラム ホールC

6/11 (日)

東京アカデミッシュカペレ 第64回演奏会

「スターバト・マーテル」

出演：澤崎一了、伊藤貴之

会場：すみだトリフォニーホール

6/18 (日)

デュオ・ナチュレルコンサート

出演：大森智子

会場：サルビアホール

6/21 (水)～24 (土)

アウトリーチ

出演：乗松恵美

会場：愛知県田原市内

6/24 (土)

神奈川フィルハーモニー管弦楽団

Dramatic Series

歌劇「サロメ」(演奏会形式)

出演：山本康寛

会場：横浜みなとみらいホール

6/28 (水)・30 (金)・7/2 (日)・5 (水)・8 (土)

新国立劇場「ラ・ボエーム」

出演：須藤慎吾

会場：新国立劇場オペラバレス

7/5 (水)

Concert for KIDS

～0才からのクラシック～

出演：大森智子

会場：台東区生涯学習センター2F ミレニアムホール

7/7 (金)・8 (土)

日本フィルハーモニー交響楽団

第752回東京定期演奏会

歌劇「道化師」(演奏会形式)

出演：笛田博昭、上江隼人

会場：サントリーホール

7/10 (月)・11 (火)・12 (水)・13 (木)

14 (金)・15 (土)

新国立劇場

高校生のためのオペラ鑑賞教室 2023

「ラ・ボエーム」

出演：久保田真澄、伊藤貴之

会場：新国立劇場 オペラバレス

7/15 (土)

京都市交響楽団 第680回定期演奏会

歌劇「サロメ」(演奏会形式)

出演：山本康寛

会場：京都コンサートホール 大ホール

7/15 (土)

関西フィルハーモニー管弦楽団

第339回定期演奏会

ウェッバー「レクイエム」

出演：村上敏明

会場：ザ・シンフォニーホール

7/23 (日)・27 (木)・31 (月)

東京フィルハーモニー交響楽団

2023シリーズ7月定期演奏会

歌劇「オテロ」

出演：小林厚子、村上敏明

会場：Bunkamuraオーチャードホール

東京オペラシティコンサートホール

サントリーホール

7/27 (木)

九州交響楽団 第414回定期演奏会

歌劇「サロメ」(演奏会形式)

出演：山本康寛

会場：アクロス福岡シンフォニーホール

8/6 (日)

TOKYO MET SaLaD

MUSIC FESTIVAL 2023

東京都交響楽団「スタバートマーテル」

出演：小林厚子

会場：東京芸術劇場

8/20 (日)

睦沢町制施行40周年記念コンサート

出演：村上敏明

会場：睦沢ゆうあい館

8/21 (月)～8/24 (木)

アウトリーチ

出演：伊藤貴之

会場：愛知県豊田市内

9/2 (土)

中部フィルハーモニー交響楽団

第89回定期演奏会 KOMAKIシリーズ2

こまぎ第九2023

出演：中井亮一

会場：小牧市市民会館ホール

9/9 (土)

アーリドラテ歌劇団Vol.9

「ルイザ・ミラー」

出演：村上敏明

会場：大田区民ホール・アブリコ 大ホール

9/16(土)
ガトーフェスタ ハラダ コンサート
出演:村上敏明
会場:ガトーフェスタ ハラダ 本社1階
エスポワールホール

9/23(土)・24(日)・27(水)
日越外交関係樹立50周年記念
新作オペラ・プロジェクト
「アニオー姫」
出演:伊藤貴之
会場:ハノイオペラハウス

9/24(日)
東京文化会館オペラBOX
「Help! Help! グロボリンクスだ!
~エイリアン襲来!!~」
出演:佐藤美枝子、折江忠道、岡 昭宏、市川和彦
会場:東京文化会館 小ホール

9/26(火)
にいがた音楽鑑賞会公演
出演:藤原歌劇団 Quattro Aria
会場:りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館

受託オペラ

4/30(日)
~オペラ&ディナー~
第15回 ジ・インペリアル オペラ
藤原歌劇団公演「カルメン」
出演:山川真奈、藤田卓也、市川有一郎、別府美沙子
龍 進一郎、田村洋貴、楠野麻衣、丸尾有香
琉子健太郎、山内政幸、藤原歌劇団合唱部
会場:帝国ホテル 本館3階 富士の間

Opera

■藤原歌劇団公演
「劇場のわがままな歌手たち」 ニュープロダクション
G.ドニゼッティ作曲 指揮:時任康文/演出:松本重孝
2023年4月22日(土)・23日(日) 14:00
テアトロ・ジューリオ・ショウワ

■日本オペラ協会公演
「夕鶴」 團伊玖磨 作曲
指揮:柴田真都/演出:岩田達宗
2023年7月1日(土)・2日(日) 14:00
テアトロ・ジューリオ・ショウワ

■藤原歌劇団公演(共催:新国立劇場・東京二期会)
「二人のフォスカリ」 ニュープロダクション
G.ヴェルディ作曲 指揮:田中祐子/演出:伊香修吾
2023年9月9日(土)・10日(日) 14:00
新国立劇場オペラパレス

■藤原歌劇団公演
「ファウスト」 ニュープロダクション
C.グノー作曲
指揮:阿部加奈子/演出:ダヴィデ・ガラッティエーニ・ライモンディ
2024年1月27日(土)・28日(日) 14:00
東京文化会館 大ホール
2024年2月3日(土) 14:00
日本特殊陶業市民会館 ビレッジホール(愛知)

■日本オペラ協会公演
「ニンゲル」 新作初演
倉本 聰 原作/渡辺俊幸 作曲/吉田雄生 オペラ脚本
指揮:田中祐子/演出:岩田達宗
2024年2月10日(土)・11日(日)・12日(月・祝) 14:00
めぐろパーシモンホール

Concert

■ 団会員企画シリーズ
第10回 藤原歌劇団 テノールの響宴
2023年6月10日(土) 13:30
和光大学ポブリホール 鶴川 地下2階ホール

デビューコンサート2023 vol.1
2023年6月17日(土) 14:00 イイノホール

■ 日本オペラ協会
日本オペラ・日本歌曲連続演奏会第72回
2023年8月23日(水)・24日(木)
渋谷区文化総合センター大和田 伝承ホール

■ 団会員企画シリーズ
Autumn Concert 2023
2023年10月5日(木) 18:30 昭和音楽大学 ユリホール

デビューコンサート2023 vol.2
2023年11月11日(土) イイノホール



J O F ニュース

APAN PERA OUNDATION

日本オペラ振興会会報

No.26

表紙photo:

2023年日本オペラ協会公演
「源氏物語」

原作：紫式部 台本：コリン・グレアム

作曲・日本語訳台本：三木稔

指揮：田中祐子 演出：岩田達宗

写真：池上直哉



日本オペラ振興会 公式ホームページで 随時情報更新中!

いますぐ!

日本オペラ振興会 検索

- ★藤原歌劇団・日本オペラ協会のオペラ公演はもちろん、主催コンサートや協力公演の情報も公開!
- ★お得なセット券〈プレミアムシート〉も簡単にご入会できます!
- ★JOF Blog 舞台裏レポートで、舞台のウラ側や稽古風景、育成部の授業風景などをご紹介します!
- ★オペラ鑑賞の「いろは」や、知らなかったオペラのホントを大公開!

公演チケットはオンラインチケットが便利!

24時間、どこにいても
座席指定で公演チケットが購入可能です!
オンラインチケットはこちらから →



公益財団法人日本オペラ振興会

本部：〒150-0001 東京都渋谷区神宮前4-3-15-317 【総務】03-6721-0995 【チケットセンター】03-6721-0874 (平日10:00~18:00)

黒川事務所：〒215-0035 神奈川県川崎市麻生区黒川76-1 【事業部・制作部】044-819-5505

新百合ヶ丘事務所：〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺1-16-6 【育成部】044-969-7197